

トーマス・ルルー氏 公開講座 報告書

2018年4月14日マルセイユ歌劇場管弦楽団首席テューバ奏者 Thomas Leleu (トーマス・ルルー)氏の公開講座が開催されました。

レッスンは

・3年生 R.V.ウィリアムズ 1楽章

・4年 J.カステレーデ 1.2楽章

の2名が受講しました。

演奏する曲にしっかりイメージを持つ事、速いパッセージもゆっくりから正確に吹く練習の大切さや歌って音程感などを掴むソルフェージュの大切さをとても熱心に教えて頂きました。後は呼吸の練習で、演奏する(息を吐く)とブレス(息を吸う)を逆にして必要な息の量をチェックしたりするのはとても興味深いモノでした。

受講しての感想

3年生

今回トマ・ルルー氏のマスタークラスを受けて、自分の目指す音楽の方向性や練習方法が大きく変わりました。今回沢山のご指導を頂きましたがその場でしっかりとできなかった事も多々あるので、今後の課題として練習に励みたいと思います。

1人でマスタークラスを受講するのが初めてでとても緊張しましたが、有意義な時間を過ごす事が出来ました。お忙しい中、ありがとうございました。



4年生

マスタークラスを受けて改めて表現をする上でのアーティキュレーション、ダイナミクスを正確に吹くことの大切さを実感しました。

自分の身の周りだけでなく聴衆にどう聴こえるのか。その曲のイメージはどういう物なのか、これからソロを吹く時に気にしたいです。

正確な練習と経験によってトマ・ルルー氏の美しく繊細な音楽は成り立っていると感じました。



